

国際ロータリー第2620地区山梨第1分区

山梨ロータリークラブ

広報歯車



2011～2012 国際ロータリーのテーマ
Reach within to embrace humanity 心の中を見つめよう 博愛を広げるために

発行：山梨ロータリークラブ広報委員会（三枝照二委員長）
事務所：山梨市小原西110 深沢一孝（幹事）方
電話：0553-22-4126（FAXも同じ）

ご挨拶

社会奉仕へ業種や世代を超えて交流



会長 山田 清岡

会長を仰せつかって早くも4か月。この間、RI（国際ロータリー）会長が掲げた今年度のテーマ「心の中を見つめよう」を、私なりに深慮しました。その結果、「命の尊さ」という生あるものに欠かせない普遍の真理に改めて気付かされました。未曾有の被害をもたらした、あの東日本大震災の教訓と重ね合わせたのです。

ロータリアンが地域コミュニティに密接にかかわる時、この天災という自然界の厳しい掟と、どのように向き合うかということです。

命の大切さは、いまさら語るまでもありません。家族を形成するのも、地域社会を形成するのも、その基本にあるのは「命」です。命は原子であり、核と言ってもいいと思います。

天上天下唯我独尊。お釈迦さんの考えです。あ

らゆる命は、この世の中でたった一つしかありません。人生は一回限りです。この現実を避けて通ることは出来ません。人々はこの世に生きている限り、何らかの形で地域や社会に貢献しなければなりません。私たちはロータリー活動を通じて、その実践をしていきたいと考えています。

山梨ロータリークラブのメンバーは今42人（11月1日現在）。毎週一度の例会を中心に和やかに語り、時にはお酒も酌み交わします。身の丈に合った様々な事業を通じて地域社会に貢献したいと考えています。その前提にあるのは自らの研鑽にほかなりません。

ロータリークラブは、さまざまな業種の仲間たちが集まったコミュニティです。メンバーの年齢も幅広く、30代から80代に。業種や世代を超えて交流しています。一人でも多くの人たちが活動の仲間に加わってくれたらいいな、と思っています。上記の事務所にご連絡ください。

ロータリークラブあれこれ

例会は毎週水曜日 / 自己研鑽と社会奉仕の場 / みんなで和やかに語らい

山梨ロータリークラブは昭和45年3月に設立されました。昨年4月、40周年の記念式典を開きました。現在の会員数は42人。農業経営者もいれば、会社経営者やお医者さん、公認会計士や司法書士、もちろん民間会社や公務員をリタイアした人たちもいます。実に多士済々です。

原則として毎週水曜日午後零時半から1時間、山梨市民会館で例会を開いています。お昼休みを利用して会食しながらの交流です。メンバーが交代で「卓話」という名のミニ講話をし、情報を交換します。様々な職種の人たちの集まりですから、話の内容も多彩です。

時には早朝や夜間の例会もあります。午前6時半と午後6時半からで、早朝例会は暖かい時期、市民会館の前でラジオ体操をした後、屋外でのミーティングをします。夜間例会はお酒を酌み交わしながらの交歓です。

クラブには奉仕プロジェクト委員会やクラブ管理委員会など5つの委員会があって、一人一役、みんながいづれかに所属して活動します。山梨市内の中学校への図書への寄贈、それに基づく読書感想文コンクールの主宰、山梨市との防災協力協定などの事業も展開しています。



Q & A

Q 歯車って、なあ〜に？

A 歯車はロータリークラブのシンボルマークです。1905年、米・シカゴで世界で初めてロータリークラブが誕生した時、メンバーの一人が車輪のような、このマークをデザインしました。この人は彫刻家で、発足当時は例会場を回りばんこのローテーションで決めていたことに由来しました。

世界には7月1日現在、約120の国と地域に34,301のクラブがあって1,223,413人の仲間たちがいます。日本はというと2,294のクラブと90,119人のロータリアンが。毎年度、R I（国際ロータリー）会長が示す共通のテーマで活動します。ロータリーは世界中、みんなの歯車なのです。

掲示板

◇クリスマス家族会を開きます。

今年は12月17日です。山梨ロータリークラブは毎年12月第三土曜日に山梨市民会館で、クリスマス家族会を開いています。奥さんや子供さん、お孫さんなどメンバーのご家族をお招きしての交流会。食べて、飲んで、歌って…。和やかに交歓します。お楽しみ抽選会もあって、プレゼントもいっぱいです。（クラブ管理・親睦小委員会）

◇乙女高原の草原保護活動、今年も11月23日です。

乙女高原の貴重な草原を守ろう。山梨ロータリークラブは、同高原ファン倶楽部が提唱する運動に参画しています。ロープ張りを中心にした春の遊歩道づくりに次ぐもので、秋は草刈りに汗を流します。お弁当は事務局で用意、車は乗り合わせで。終了後、山菜取りや懇親会もしています。

（奉仕プロジェクト委員会）